

ひとり親家庭の意識調査 報告書

令和4年3月

豊岡市

目次

調査概要	2
調査結果	3
(1)基本属性（単純集計）	3
(2)母子家庭・父子家庭の実態.....	7
(3)くらしの実態.....	9
(4)仕事の実態	15
(5)豊岡市のサービスについて.....	22

調査概要

1. 調査目的

豊岡市におけるひとり親家庭の現状やニーズを把握し、今後のひとり親就労支援施策の展開に向けた基礎資料とするため、アンケート調査を実施した。

2. 実施要領

① 調査対象と回収率

豊岡市内の児童扶養手当受給資格者を対象に実施。

- ・回答数 312
- ・調査対象 661
- ・回収率 47.2%

② 調査方法

児童扶養手当受給資格者に書面にてインターネット調査の回答を依頼、オンラインで回答。

③ 調査期間

令和3年11月16日～令和3年12月12日

④ 調査内容

- (1) 基本属性
- (2) 母子家庭・父子家庭の実態
- (3) くらしの実態
- (4) 仕事の実態
- (5) 豊岡市のサービスについて

⑤ 報告書の見方

- ・設問に応じて、属性（例：母子家庭、父子家庭、職業、総収入、子どもの年齢、同居の有無など）に分けて集計している。
- ・集計結果について、分母に占める割合（%）は、小数第2位を四捨五入しているため合計が100%にならないことや説明文と相違する場合がある。
- ・調査結果（P. 9～P. 14）の表の上段は回答者数、下段は回答者の比率を表示している。
また、軸の中でスコアが高い順に3つマークを表示する。

【表の見方】
上段：回答者数、下段：回答者の比率（%）
ランキング ● 1位 ● 2位 ● 3位

調査結果

(1)基本属性（単純集計）

	Q1 性別			
	全体	男性	女性	その他
全体	312 100.0	● 22 7.1	● 289 92.6	● 1 0.3

【表の見方】
上段：回答者数、下段：回答者の比率（%）
ランキング ● 1位 ● 2位 ● 3位

「女性」が92.6%である。

	Q2 年齢							
	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
全体	312 100.0	0 0.0	● 14 4.5	● 110 35.3	● 151 48.4	● 37 11.9	0 0.0	0 0.0

「40代」が48.4%と最も高く、次いで「30代」（35.3%）「50代」（11.9%）の順である。

	Q3 住宅							
	全体	自分名義の持ち家	自分以外 の名義の 持ち家	実家や親 族の家に 同居	社宅	市営・県 営住宅	民間の賃 貸住宅	その他
全体	312 100.0	● 38 12.2	● 30 9.6	● 98 31.4	0 0.0	● 53 17.0	● 90 28.8	● 3 1.0

「実家や親族の家に同居」が31.4%と最も高く、次いで「民間の賃貸住宅」（28.8%）「市営・県営住宅」（17%）

	Q4 パソコンやタブレット所持状況				
	全体	パソコン のみある	タブレット のみある	パソコン もタブレット もある	パソコン もタブレット もない
全体	312 100.0	● 91 29.2	● 54 17.3	● 78 25.0	● 89 28.5

「パソコンのみある」が29.2%と最も高く、次いで「パソコンもタブレットもない」（28.5%）の順である。

	Q5 自宅の通信環境			
	全体	通信量を 気にせず にイン ターネッ トに接続 できる	通信量を 気にしな がら（時 間やデー タの容量 を制約す れば）イン ターネッ トに接続 できる	インター ネットに接 続できな い
全体	312 100.0	● 232 74.4	● 66 21.2	● 14 4.5

「通信量を気にせずにインターネットに接続できる」が74.4%と最も高い。

		Q6 同居家族									
		全体	父	母	子	兄弟姉妹	祖父	祖母	孫	その他	
全体	312	86	121	302	23	4	24	0	10		
	100.0	27.6	38.8	96.8	7.4	1.3	7.7	0.0	3.2		

「子」が96.8%と最も高く、次いで「母」(38.8%)「父」(27.6%)の順である。

※なお、本設問では重複回答のため集計は一致しません。また、子と同居していない回答が10存在しますが別居監護家庭と想定しています。

		Q7 あなたの子どもについて年齢をお答えください。 ※回答時の年齢でお答えください。									
		全体	あてはまる子どもはいない	未就学児(0~2歳)	未就学児(3~4歳)	未就学児(5~6歳)	小学生	中学生	高校生	大学生・専門学校生以上	
第一子	302	10	2	11	9	83	61	64	62		
	100.0	3.3	0.7	3.6	3.0	27.5	20.2	21.2	20.5		
第二子	302	121	1	6	11	57	40	50	16		
	100.0	40.1	0.3	2.0	3.6	18.9	13.2	16.6	5.3		
第三子	302	239	0	3	3	27	14	13	3		
	100.0	79.1	0.0	1.0	1.0	8.9	4.6	4.3	1.0		
第四子以上	302	288	1	1	0	9	2	1	0		
	100.0	95.4	0.3	0.3	0.0	3.0	0.7	0.3	0.0		
全体	302	10	4	21	23	137	109	114	65		
	100.0	3.3	1.3	7.0	7.6	45.4	36.1	37.7	21.5		

全体では、「小学生」が45.4%と最も高く、次いで「高校生」(37.7%)「中学生」(36.1%)の順である。

※子どもの年齢の数は重複回答のため全体と集計値は一致しません。

		Q8 最終学歴						
		全体	中学校	高等学校(全日制、定時制、通信制すべて含む)	高等専門学校	専門学校	短期大学	大学/大学院
全体	312	32	152	11	46	52	19	
	100.0	10.3	48.7	3.5	14.7	16.7	6.1	

「高等学校(全日制、定時制、通信制すべて含む)」が48.7%と最も高く、次いで「短期大学」(16.7%)の順である。

	Q9 職業									
	全体	会社員/ 公務員 (正規雇 用)	会社員/ 公務員 (非正規 雇用)	専門職 (看護師・ 介護福祉 士など) (正規雇 用)	専門職 (看護師・ 介護福祉 士など) (非正規 雇用)	自営業	学生	無職		
現在	312 100.0	● 107 34.3	● 121 38.8	● 21 6.7	● 28 9.0	18 5.8	1 0.3	16 5.1		
ひとり親 になる前	312 100.0	● 84 26.9	● 112 35.9	● 20 6.4	● 11 3.5	20 6.4	● 3 1.0	● 62 19.9		

現在は「会社員/公務員（非正規雇用）」が 38.8%と最も高く、次いで「会社員/公務員（正規雇用）」（34.3%）「専門職（看護師・介護福祉士など）（非正規雇用）」（9.0%）の順である。
ひとり親になる前は、「無職」が 19.9%である。

	Q10 職種									
	全体	事務職 (受付、経 理など)	サービ ス職(美容 師、調理、接客 業など)	専門職・ 技術職 (看護師、 保育士、 介護福祉 士など)	販売職 (食品販 売、レジ など)	生産工程 職(製品 製造、組 立、検査 など)	運搬・清 掃・包装 等従事者 (宅配業、 建物清 掃、箱詰 作業な ど)	その他		
全体	312 100.0	● 65 20.8	● 66 21.2	● 59 18.9	18 5.8	57 18.3	14 4.5	33 10.6		

「サービス職（美容師、調理、接客業など）」が 21.2%と最も高く、次いで「事務職（受付、経理など）」（20.8%）「専門職・技術職（看護師、保育士、介護福祉士など）」（18.9%）の順である。

	Q11 労働時間(一週間あたり)									
	全体	0時間(休 業・待機・ 出勤制 限)	週1-10時 間未満	週10-20 時間未満	週20-30 時間未満	週30-40 時間未満	週40-50 時間未満	週50時間 -	働いてい ない	
全体	312 100.0	3 1.0	13 4.2	9 2.9	● 38 12.2	● 116 37.2	● 99 31.7	26 8.3	8 2.6	

「週 30-40 時間未満」が 37.2%と最も高く、次いで「週 40-50 時間未満」（31.7%）「週 20-30 時間未満」（12.2%）の順である。

		Q12 総収入							
全体		～100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400万円以上	わからない・答えたくない	収入はない	
全体	312 100.0	28 9.0	● 107 34.3	● 96 30.8	● 35 11.2	23 7.4	18 5.8	5 1.6	

「100～200万円未満」が34.3%と最も高く、次いで「200～300万円未満」(30.8%)「300～400万円未満」(11.2%)の順である。

		Q13【離婚をしたひとり親家庭の方へお聞きします】 あなたは養育費を受けていますか。				
全体		養育費の 取り決め をしてい て、受け 取れてい る	養育費の 取り決め をしている が、受け 取れてい ない	養育費に ついて取 り決めで きていな い	該当しな い	わから ない・答 えたく ない
全体	312 100.0	● 90 28.8	57 18.3	● 65 20.8	● 89 28.5	11 3.5

「養育費の取り決めをしていて、受け取れている」が28.8%と最も高く、次いで「該当しない」(28.5%)の順である。「受け取れていない」18.3%、「取り決めできてない」20.8%と約4割が受け取れていない。

		Q14 貯金額							
全体		0円	1～50万円未満	50～100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～500万円未満	500万円以上	わから ない・答 えたく ない
全体	312 100.0	● 58 18.6	● 80 25.6	45 14.4	31 9.9	21 6.7	8 2.6	12 3.8	● 57 18.3

「1～50万円未満」が25.6%と最も高く、次いで「0円」(18.6%)「わからない・答えたくない」(18.3%)の順である。

(2)母子家庭・父子家庭の実態

【表の見方】
 上段：回答者数、下段：回答者の比率（%）
 ランキング ● 1位 ● 2位 ● 3位

		Q9 あなたの職業【現在】								
		全体	会社員/ 公務員 (正規雇 用)	会社員/ 公務員 (非正規 雇用)	専門職 (看護師・ 介護福祉 士など) (正規雇 用)	専門職 (看護師・ 介護福祉 士など) (非正規 雇用)	自営業	学生	無職	
全体		312	● 34.3	● 38.8	● 6.7	● 9.0	● 5.8	● 0.3	● 5.1	
性別	男性	22	● 59.1	● 9.1	● 0.0	● 4.5	● 27.3	● 0.0	● 0.0	
	女性	289	● 32.5	● 41.2	● 7.3	● 9.3	● 4.2	● 0.3	● 5.2	

「男性」は「会社員/公務員（正規雇用）」（59.1%）が高く、
 「女性」は「会社員/公務員（非正規雇用）」（41.2%）が高い。

		Q9 あなたの職業【ひとり親になる前】								
		全体	会社員/ 公務員 (正規雇 用)	会社員/ 公務員 (非正規 雇用)	専門職 (看護師・ 介護福祉 士など) (正規雇 用)	専門職 (看護師・ 介護福祉 士など) (非正規 雇用)	自営業	学生	無職	
全体		312	● 26.9	● 35.9	● 6.4	● 3.5	● 6.4	● 1.0	● 19.9	
性別	男性	22	● 63.6	● 9.1	● 0.0	● 0.0	● 27.3	● 0.0	● 0.0	
	女性	289	● 24.2	● 38.1	● 6.9	● 3.8	● 4.8	● 1.0	● 21.1	

ひとり親になる前の職業について、「男性」は「無職」が 0%に対して、「女性」は 21.1%と 5 人に 1 人。

		Q10 職種								
		全体	事務職 (受付、経 理など)	サービス 職(美容 師、調 理、接客 業など)	専門職・ 技術職 (看護師、 保育士、 介護福祉 士など)	販売職 (食品販 売、レジ など)	生産工程 職(製品 製造、組 立、検査 など)	運搬・清 掃・包装 等従事者 (宅配業、 建物清 掃、箱詰 作業な ど)	その他	
全体		312	● 20.8	● 21.2	● 18.9	● 5.8	● 18.3	● 4.5	● 10.6	
性別	男性	22	● 4.5	● 18.2	● 22.7	● 0.0	● 13.6	● 4.5	● 36.4	
	女性	289	● 22.1	● 21.5	● 18.7	● 5.9	● 18.7	● 4.5	● 8.7	

「女性」は「事務職（受付、経理など）」（22.1%）が高い。

		Q11 労働時間(一週間あたり)									
		全体	0時間(休業・待機・出勤制限)	週1-10時間未満	週10-20時間未満	週20-30時間未満	週30-40時間未満	週40-50時間未満	週50時間-	働いていない	
全体		312	1.0	4.2	2.9	● 12.2	● 37.2	● 31.7	● 8.3	● 2.6	
性別	男性	22	● 4.5	● 0.0	● 0.0	● 0.0	● 22.7	● 36.4	● 36.4	● 0.0	
	女性	289	● 0.7	● 4.5	● 3.1	● 12.8	● 38.4	● 31.5	● 6.2	● 2.8	

「男性」は「週 40-50 時間」と「週 50 時間-」(36.4%)がともに高く、
「女性」は「週 30-40 時間」(38.4%)が高い。

		Q12 総収入							
		全体	~100万円未満	100~200万円未満	200~300万円未満	300~400万円未満	400万円以上	わからない・答えたくない	収入はない
全体		312	● 9.0	● 34.3	● 30.8	● 11.2	● 7.4	● 5.8	● 1.6
性別	男性	22	● 4.5	● 9.1	● 27.3	● 22.7	● 31.8	● 4.5	● 0.0
	女性	289	● 9.0	● 36.3	● 31.1	● 10.4	● 5.5	● 5.9	● 1.7

「男性」は「400 万円以上」(31.8%)が高く、「女性」は「100~200 万円未満」(36.3%)が高い。

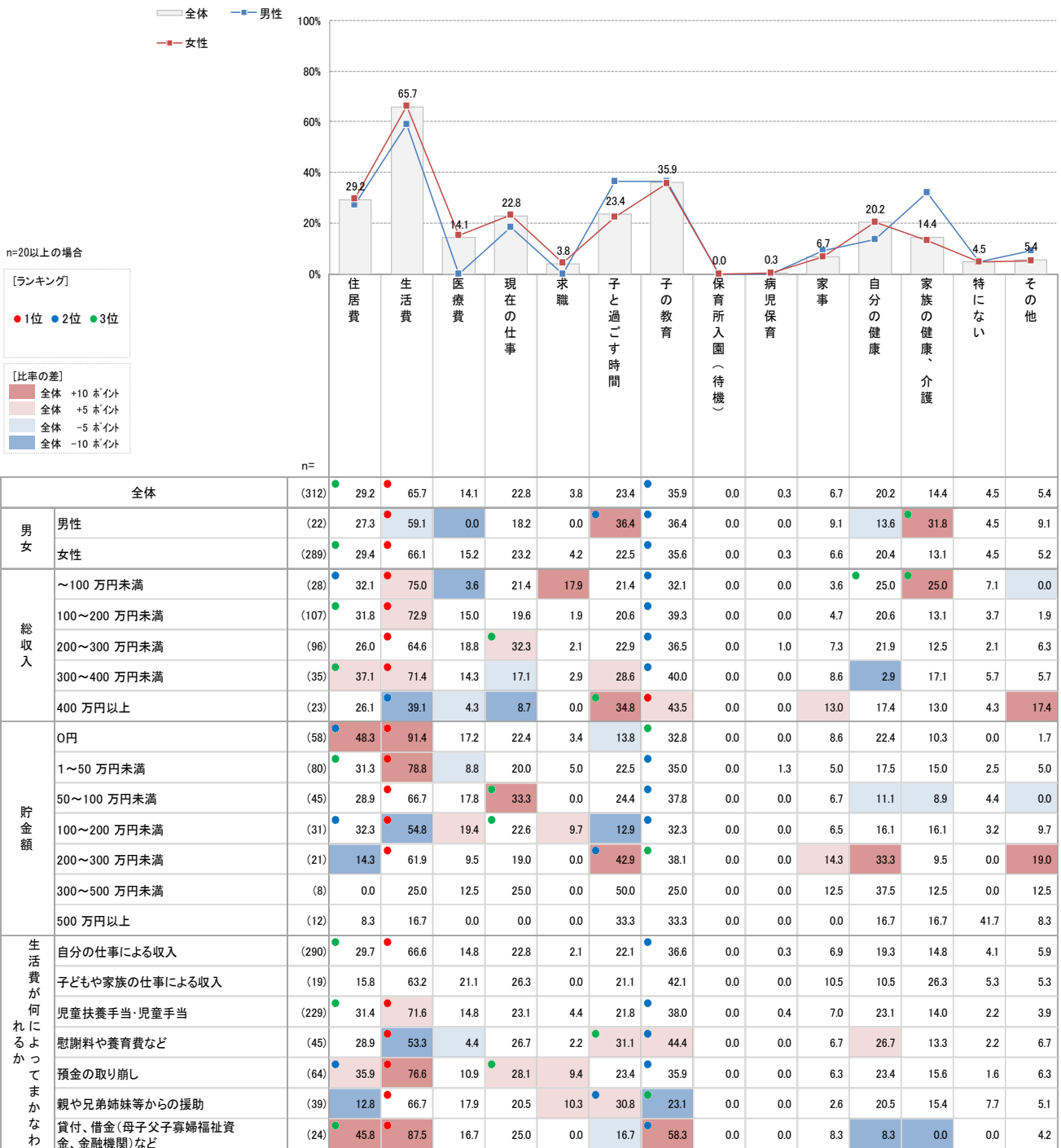
		Q14 貯金額								
		全体	0円	1~50万円未満	50~100万円未満	100~200万円未満	200~300万円未満	300~500万円未満	500万円以上	わからない・答えたくない
全体		312	● 18.6	● 25.6	● 14.4	● 9.9	● 6.7	● 2.6	● 3.8	● 18.3
性別	男性	22	● 18.2	● 27.3	● 13.6	● 9.1	● 13.6	● 4.5	● 4.5	● 9.1
	女性	289	● 18.7	● 25.6	● 14.5	● 10.0	● 6.2	● 2.4	● 3.8	● 18.7

「男性」「女性」とともに、「1-50 万円未満」が高い。

(3)くらしの実態

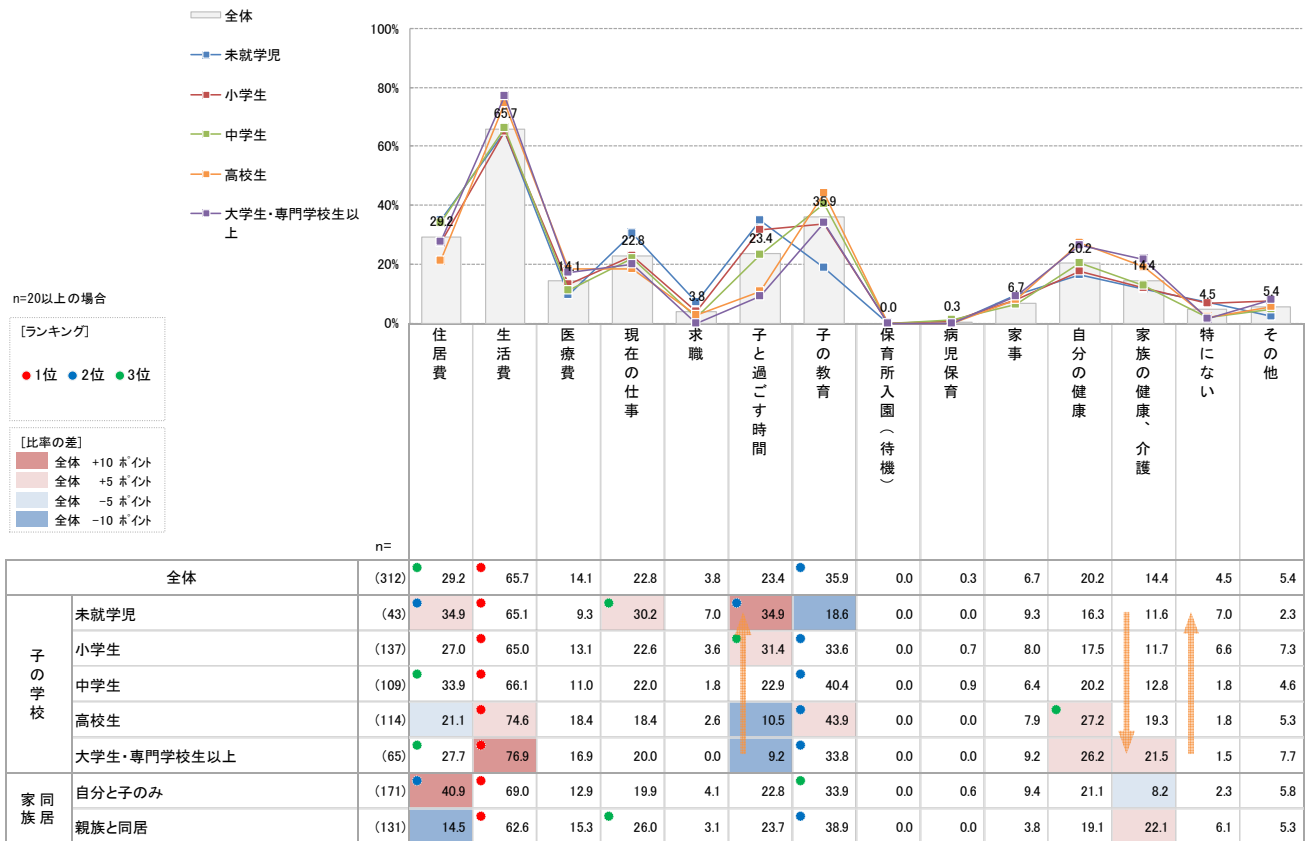
Q15 現在、あなたが特に困っていることについて、お答えください。 ※最大3つまで

「生活費」が65.7%と最も高く、次いで「子の教育」(35.9%)「住居費」(29.2%)「子と過ごす時間」(23.4%)「現在の仕事」(22.8%)の順である。総収入「～100万円未満」の人では「家庭の健康、介護」(25.0%)、求職(17.9%)が高く、生活費を「貸付、借金(母子父子寡婦福祉資金、金融機関)など」でまかなっているとした人では、「生活費」(87.5%)「子の教育」(58.3%)「住居費」(45.8%)が高い。



「子と過ごす時間」は子が小さいほど高い傾向で、「生活費」は「高校生」・「大学生・専門学校生以上」で高い傾向にある。

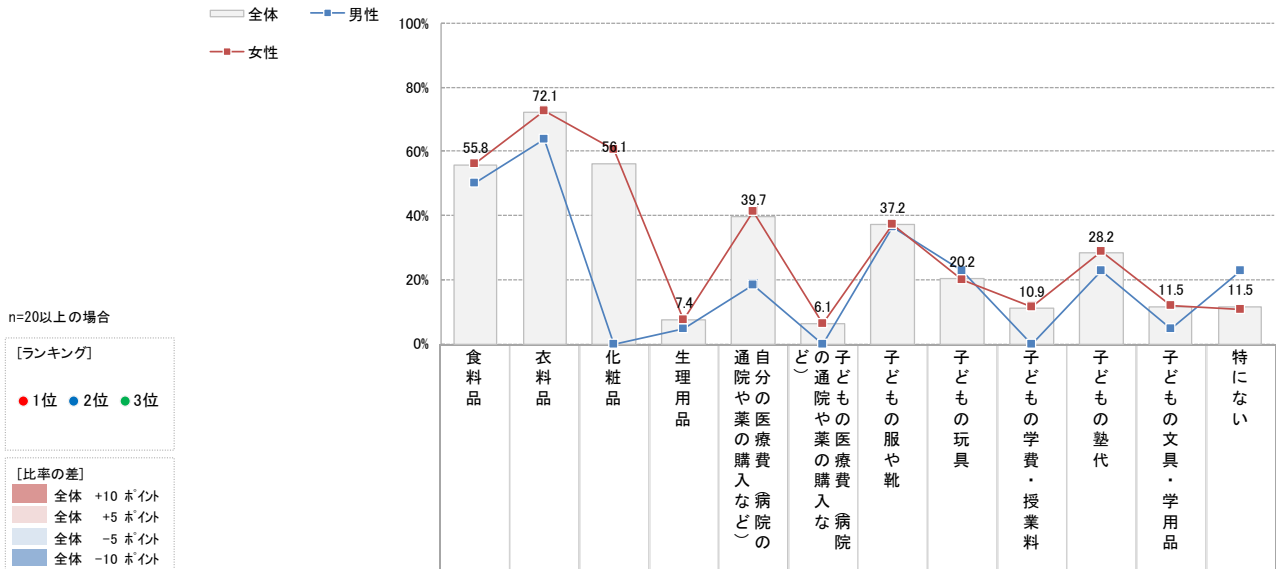
「自分と子のみ」は「住居費」(40.9%)が高く、「同居」は低い。「親族と同居」は「家族の健康、介護」が高い(22.1%)。



Q16 この1年の暮らしを振り返って、経済的な理由で

自分又は家族が必要とする商品・サービスを買うのを諦めたり、金額や量を減らしたことはありますか。

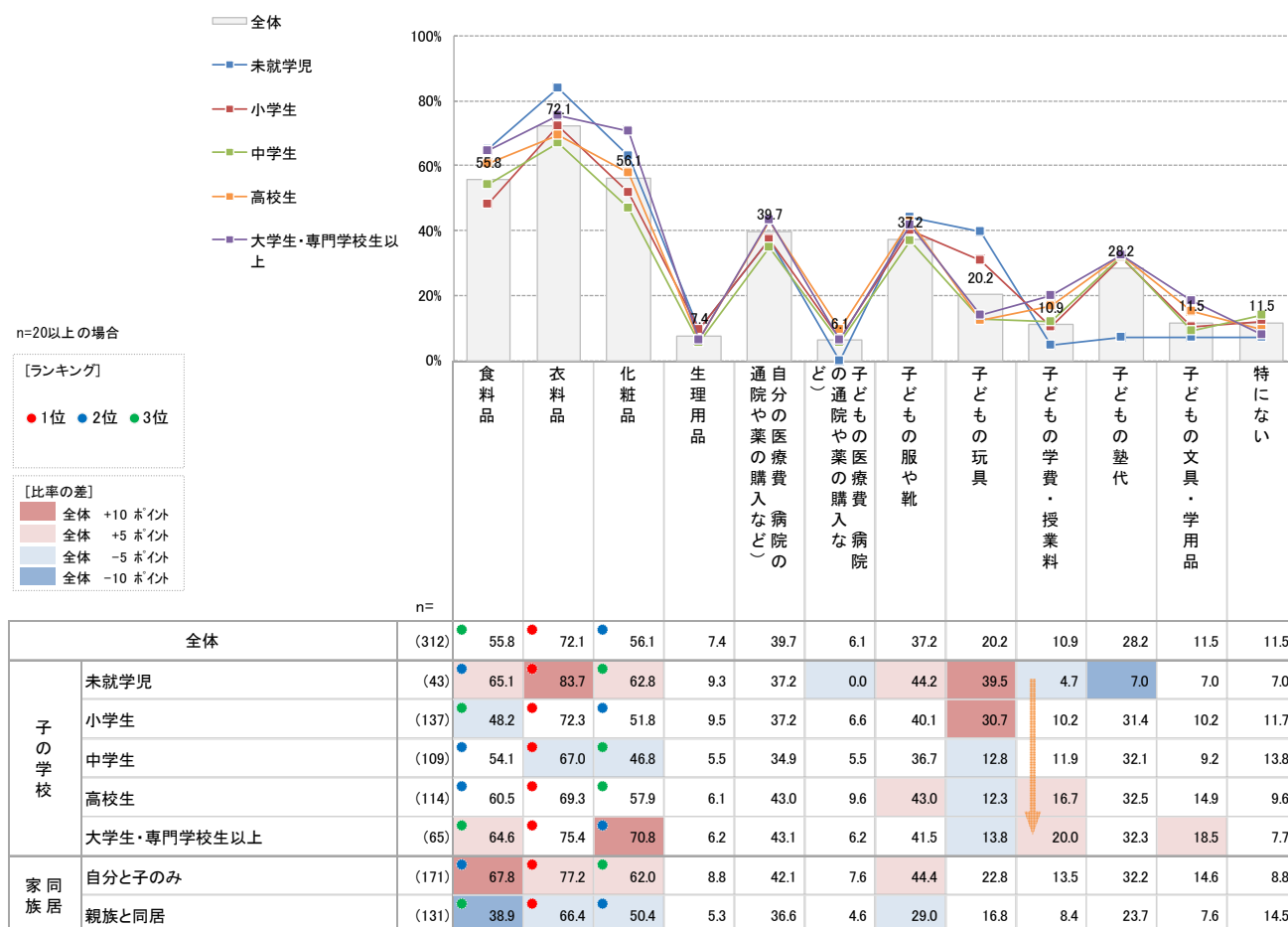
「衣料品」が72.1%と最も高く、次いで「化粧品」(56.1%)「食料品」(55.8%)「自分の医療費(病院の通院や薬の購入など)」(39.7%)の順。総収入「～100万円未満」は「自分の医療費(病院の通院や薬の購入など)」(50.0%)「生理用品」(21.4%)が高い。生活費を「預金の取り崩し・借金でまかなう」とした人は「食料品」「衣料品」「化粧品」に加え、自分の医療費、子ども関連の出費も控えている。



		全体	男性	女性	食料品	衣料品	化粧品	生理用品	通院や薬の購入など	子どもの医療費	子どもの服や靴	子どもの玩具	子どもの学費・授業料	子どもの塾代	子どもの文具・学用品	特になし
n=		(312)	(22)	(289)	55.8	72.1	56.1	7.4	39.7	6.1	37.2	20.2	10.9	28.2	11.5	11.5
男女	男性	(22)	50.0	63.6	0.0	4.5	18.2	0.0	36.4	22.7	0.0	22.7	4.5	22.7	4.5	22.7
	女性	(289)	56.1	72.7	60.6	7.6	41.2	6.2	37.0	20.1	11.4	28.7	11.8	10.7	11.8	10.7
総収入	～100万円未満	(28)	64.3	75.0	57.1	21.4	50.0	3.6	35.7	14.3	10.7	17.9	14.3	14.3	14.3	14.3
	100～200万円未満	(107)	54.2	72.9	62.6	5.6	43.0	6.5	42.1	24.3	10.3	27.1	13.1	7.5	13.1	7.5
	200～300万円未満	(96)	61.5	78.1	61.5	10.4	47.9	7.3	39.6	20.8	11.5	33.3	13.5	7.3	13.5	7.3
	300～400万円未満	(35)	57.1	65.7	42.9	0.0	25.7	11.4	37.1	11.4	14.3	28.6	5.7	11.4	5.7	11.4
	400万円以上	(23)	43.5	47.8	26.1	0.0	13.0	0.0	21.7	13.0	4.3	30.4	0.0	39.1	0.0	39.1
貯金額	0円	(58)	72.4	84.5	55.2	12.1	56.9	8.6	56.9	25.9	20.7	22.4	19.0	1.7	19.0	1.7
	1～50万円未満	(80)	65.0	83.8	62.5	10.0	37.5	3.8	38.8	18.8	3.8	25.0	15.0	2.5	15.0	2.5
	50～100万円未満	(45)	48.9	62.2	60.0	2.2	42.2	4.4	37.8	13.3	11.1	40.0	11.1	11.1	11.1	11.1
	100～200万円未満	(31)	48.4	74.2	64.5	6.5	32.3	9.7	29.0	19.4	16.1	32.3	9.7	19.4	9.7	19.4
	200～300万円未満	(21)	71.4	71.4	52.4	4.8	33.3	14.3	47.6	52.4	14.3	47.6	4.8	0.0	4.8	0.0
	300～500万円未満	(8)	12.5	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	75.0
500万円以上	(12)	33.3	50.0	25.0	0.0	16.7	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	16.7	8.3	41.7	0.0
生活費が何れによってまかなわ	自分の仕事による収入	(290)	56.2	71.7	57.2	6.2	41.0	6.6	37.2	20.0	10.3	28.3	10.7	11.7	10.7	11.7
	子どもや家族の仕事による収入	(19)	36.8	57.9	52.6	10.5	63.2	0.0	15.8	10.5	31.6	31.6	10.5	15.8	10.5	15.8
	児童扶養手当・児童手当	(229)	61.1	76.4	60.7	8.7	42.8	7.0	41.0	21.8	12.7	30.6	13.5	7.4	13.5	7.4
	慰謝料や養育費など	(45)	57.8	75.6	60.0	4.4	28.9	2.2	33.3	24.4	6.7	33.3	11.1	13.3	11.1	13.3
	預金の取り崩し	(64)	71.9	90.6	73.4	17.2	51.6	9.4	43.8	26.6	18.8	34.4	18.8	0.0	18.8	0.0
	親や兄弟姉妹等からの援助	(39)	46.2	71.8	51.3	15.4	43.6	12.8	41.0	28.2	10.3	20.5	5.1	15.4	5.1	15.4
貸付、借金(母子父子寡婦福祉資金、金融機関)など	(24)	62.5	87.5	83.3	8.3	54.2	0.0	50.0	33.3	8.3	37.5	16.7	0.0	16.7	0.0	

「子どもの学費・授業料」と回答した人は、子の年齢があがるにつれ上昇傾向にあり、特に「高校生」、「大学生・専門学校生以上」で高い。

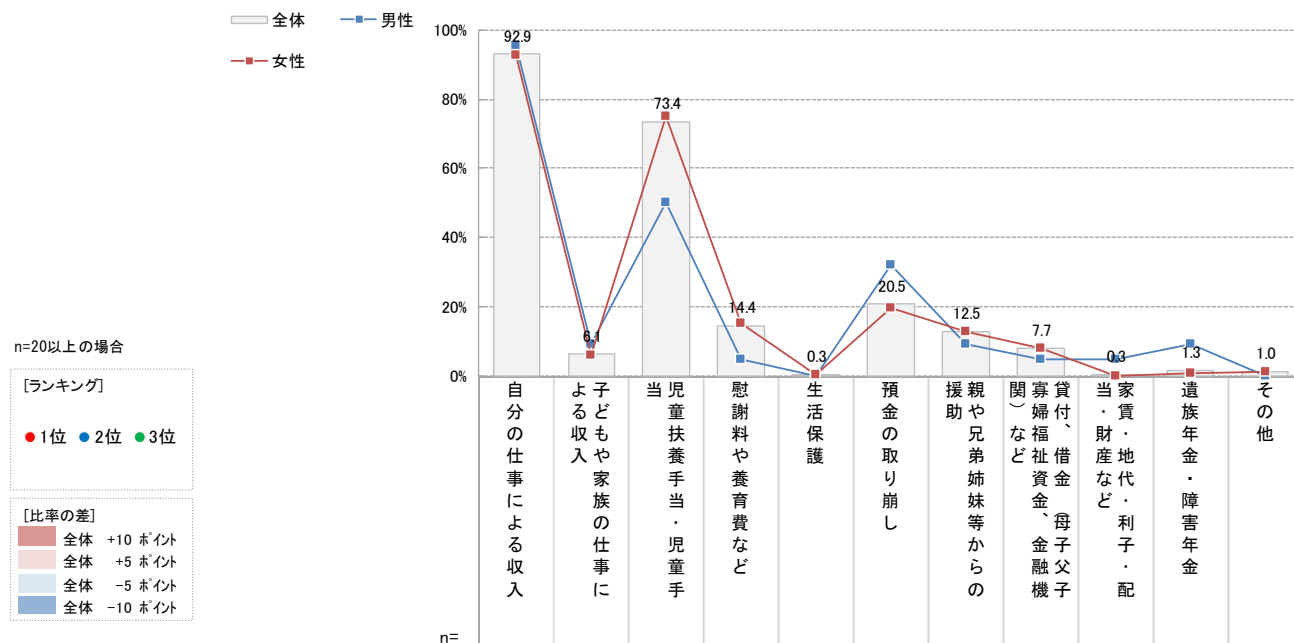
同居家族が「自分と子のみ」は「衣料品」「食料品」「子どもの服や靴」「化粧品」が高い。「親族と同居」している人のスコアは同居家族が「自分と子のみ」よりも低い。



Q17 あなたの世帯の生活費は、何によってまかなわれていますか。※最大3つまで

「自分の仕事による収入」が92.9%と最も高く、次いで「児童扶養手当・児童手当」(73.4%)「預金の取り崩し」(20.5%)「慰謝料や養育費など」(14.4%)の順である。総収入「～100万円未満」の人は「児童扶養手当」(89.3%)、「預金の取り崩し」(32.1%)が高く、「自分の仕事による収入」(82.1%)が低い。

「預金の取り崩し」は、貯金額「1～50万円未満」の世帯で36.3%、「50～100万円未満」の世帯で(31.1%)と高い。



		全体	1位	2位	3位	その他
n=		(312)	92.9	6.1	73.4	14.4
男女	男性	(22)	95.5	9.1	50.0	4.5
	女性	(289)	92.7	5.9	75.1	15.2
総収入	～100万円未満	(28)	82.1	3.6	89.3	14.3
	100～200万円未満	(107)	95.3	8.4	85.0	16.8
	200～300万円未満	(96)	95.8	4.2	80.2	11.5
	300～400万円未満	(35)	97.1	5.7	45.7	8.6
	400万円以上	(23)	100.0	4.3	21.7	13.0
貯金額	0円	(58)	93.1	8.6	87.9	8.6
	1～50万円未満	(80)	91.3	2.5	73.8	11.3
	50～100万円未満	(45)	95.6	11.1	71.1	15.6
	100～200万円未満	(31)	87.1	0.0	80.6	12.9
	200～300万円未満	(21)	95.2	0.0	76.2	23.8
	300～500万円未満	(8)	100.0	12.5	50.0	25.0
	500万円以上	(12)	91.7	0.0	33.3	25.0

「自分の仕事による収入」は「未就学児」のいる世帯から「大学生・専門学校生以上」のいる世帯にかけて上昇傾向にある。「貸付、借金（母子父子寡婦福祉資金、金融機関）など」も「未就学児」から「大学生・専門学校生以上」にかけて上昇傾向にある。

「児童扶養手当・児童手当」は、「高校生」（80.7%）・「大学生・専門学校生以上」（81.5%）でやや高く、「親族と同居」（67.9%）でやや低い。「親や兄弟姉妹などからの援助」は、「親族と同居」（23.7%）で高い。



(4)仕事の実態

Q18 あなたは、現在の仕事について、どのように考えていますか。

「現在の仕事を続けたい」が59.6%と最も高く、次いで「非正規雇用のため、正規雇用の仕事に就きたい」(20.8%)の順である。

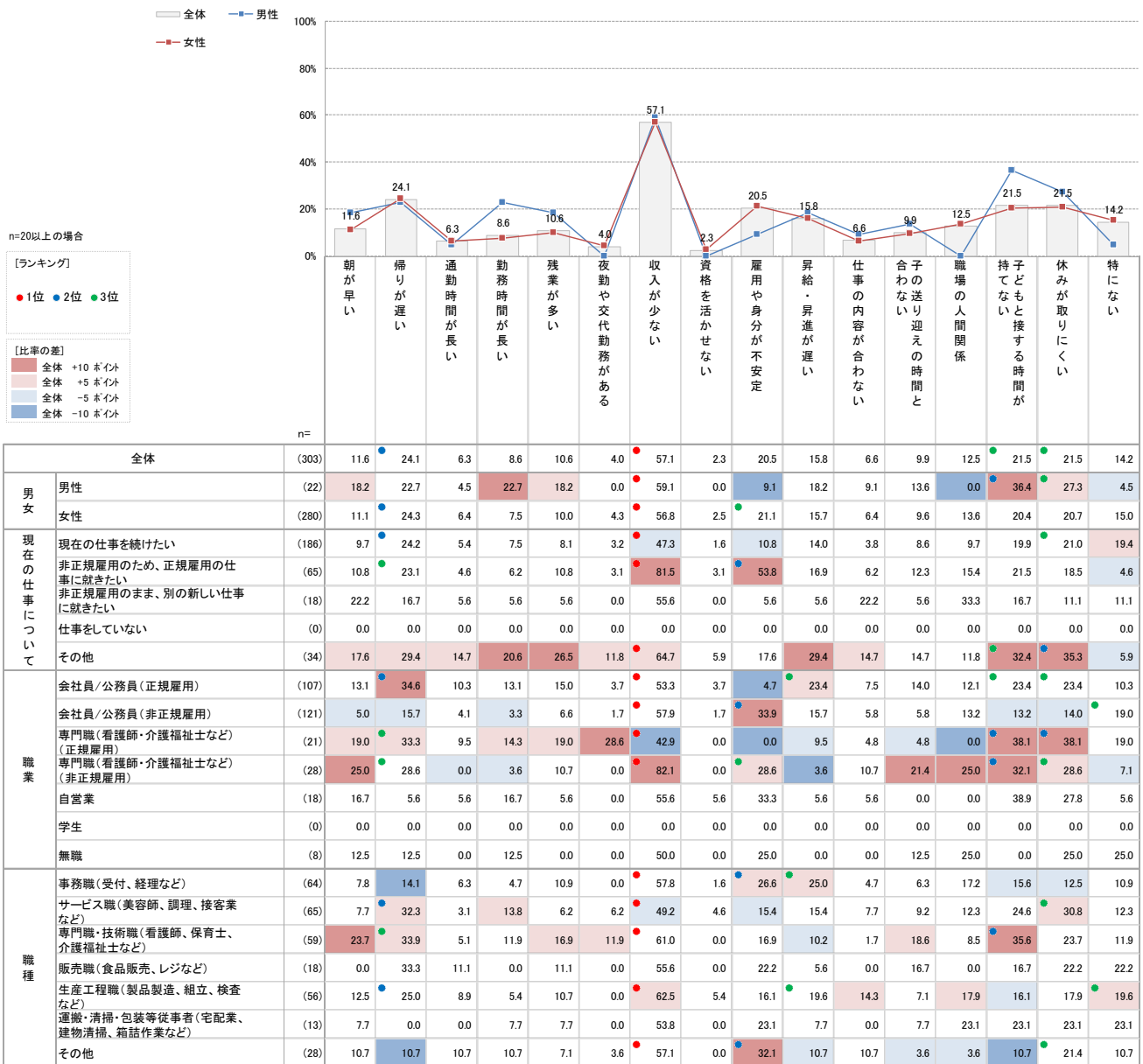
第一子の年齢で、「小学生」は「非正規雇用のため、正規雇用の仕事に就きたい」(28.9%)がやや高い。総収入「100～200万円未満」で、「非正規雇用のため、正規雇用の仕事に就きたい」(30.8%)が高い。



Q19 あなたの現在の仕事への悩みや不安について、あてはまるものをすべてお答えください。

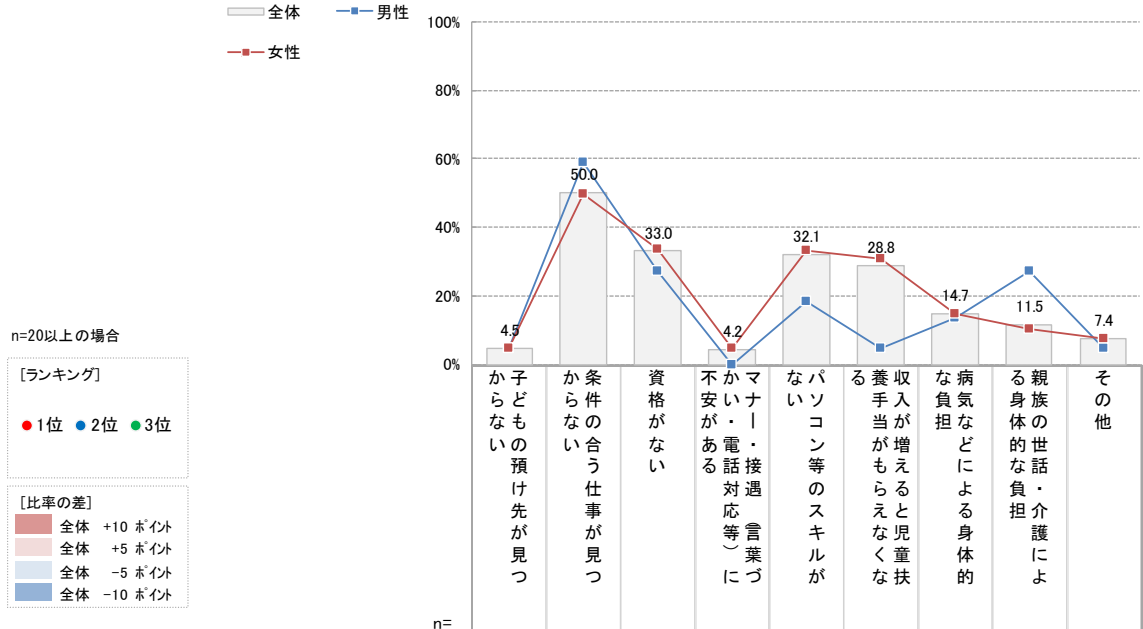
「収入が少ない」が57.1%と最も高く、次いで「帰りが遅い」(24.1%)「子どもと接する時間が持てない」(21.5%)「休みが取りにくい」(21.5%)「雇用や身分が不安定」(20.5%)の順である。

「非正規雇用のため、正規雇用の仕事に就きたい」は「収入が少ない」(81.5%)、「雇用や身分が不安定」(53.8%)が高い。加えて、「専門職(看護師・介護福祉士など)(非正規雇用)」は「子どもと接する時間が持てない」(32.1%)が高く、「休みが取りにくい」(28.6%)、「雇用や身分が不安定」(28.6%)がやや高い。



Q20 あなたが就職・転職するにあたり、課題としてあてはまるものをすべてお答えください。

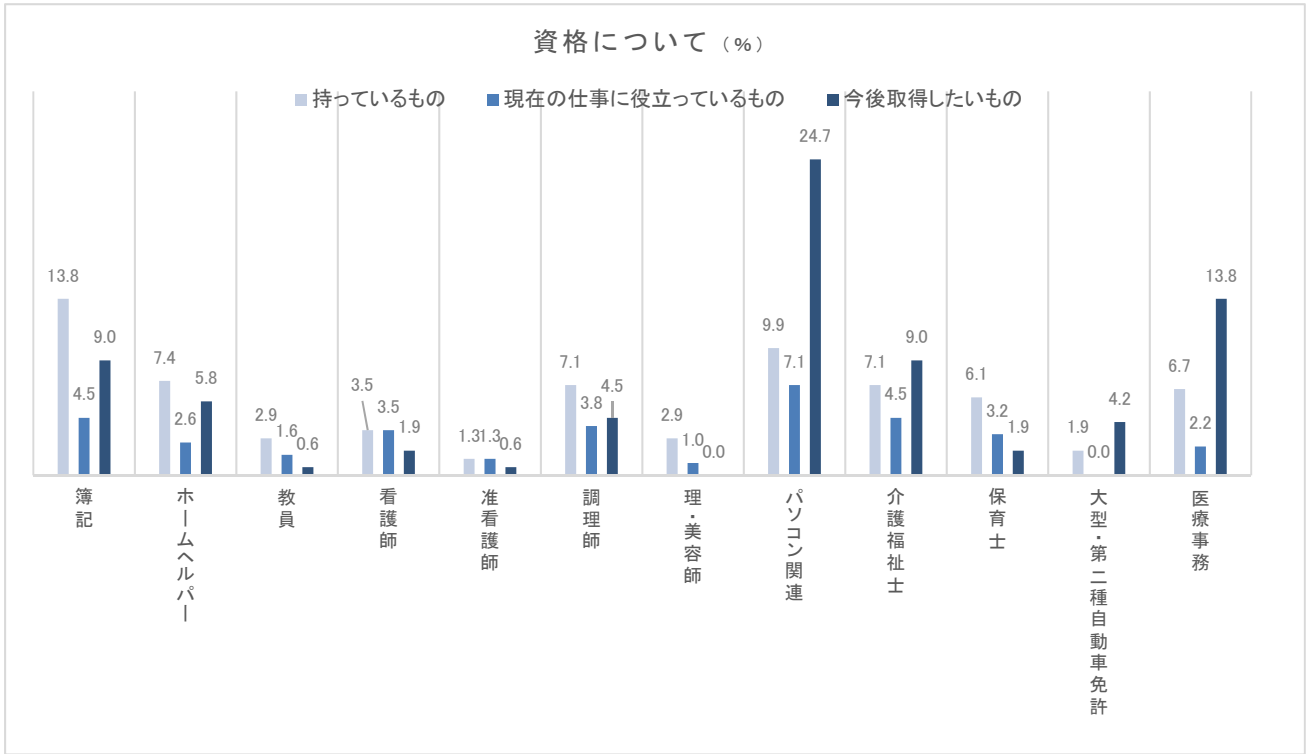
「条件の合う仕事が見つからない」が50.0%と最も高く、次いで「資格がない」(33.0%)「パソコン等のスキルがない」(32.1%)の順である。「非正規雇用のため、正規雇用の仕事に就きたい」は、「収入が増えると児童扶養手当がもらえなくなる」(40.0%)をあげている。



全体		(312)	4.5	50.0	33.0	4.2	32.1	28.8	14.7	11.5	7.4
男女	男性	(22)	4.5	59.1	27.3	0.0	18.2	4.5	13.6	27.3	4.5
	女性	(289)	4.5	49.5	33.6	4.5	33.2	30.8	14.5	10.4	7.6
現在の仕事について	現在の仕事を続けたい	(186)	3.2	46.8	27.4	1.1	28.5	26.9	14.0	10.2	5.4
	非正規雇用のため、正規雇用の仕事に就きたい	(65)	4.6	56.9	40.0	10.8	33.8	40.0	13.8	7.7	6.2
	非正規雇用のまま、別の新しい仕事に就きたい	(18)	5.6	44.4	44.4	16.7	61.1	22.2	11.1	22.2	0.0
	仕事をしていない	(9)	22.2	44.4	66.7	11.1	44.4	0.0	55.6	11.1	22.2
	その他	(34)	5.9	58.8	35.3	0.0	29.4	29.4	11.8	20.6	20.6
職業	会社員/公務員(正規雇用)	(107)	4.7	54.2	29.0	0.0	28.0	25.2	7.5	9.3	7.5
	会社員/公務員(非正規雇用)	(121)	3.3	48.8	44.6	7.4	38.8	36.4	12.4	9.1	5.0
	専門職(看護師・介護福祉士など)(正規雇用)	(21)	4.8	61.9	4.8	0.0	19.0	19.0	9.5	9.5	14.3
	専門職(看護師・介護福祉士など)(非正規雇用)	(28)	7.1	39.3	17.9	10.7	25.0	42.9	35.7	17.9	3.6
	自営業	(18)	0.0	50.0	16.7	0.0	27.8	11.1	22.2	33.3	11.1
	学生	(1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	無職	(16)	12.5	37.5	50.0	6.3	43.8	6.3	43.8	12.5	12.5
職種	事務職(受付、経理など)	(65)	1.5	50.8	32.3	0.0	13.8	23.1	16.9	12.3	10.8
	サービス職(美容師、調理、接客業など)	(66)	3.0	50.0	33.3	7.6	40.9	37.9	10.6	10.6	3.0
	専門職・技術職(看護師、保育士、介護福祉士など)	(59)	6.8	52.5	15.3	3.4	18.6	23.7	18.6	13.6	10.2
	販売職(食品販売、レジなど)	(18)	5.6	50.0	38.9	5.6	33.3	27.8	16.7	11.1	0.0
	生産工程職(製品製造、組立、検査など)	(57)	5.3	47.4	45.6	1.8	43.9	33.3	12.3	8.8	8.8
	運搬・清掃・包装等従事者(宅配業、建物清掃、箱詰作業など)	(14)	0.0	50.0	50.0	14.3	57.1	21.4	7.1	14.3	0.0
	その他	(33)	9.1	48.5	33.3	6.1	42.4	27.3	18.2	12.1	9.1

Q21 下の資格について、「持っているもの」「現在の仕事に役立っているもの」「今後 取得したいもの」それぞれ、お答えください。

持っているもの：「簿記」(13.8%)「パソコン関連」(9.9%)「ホームヘルパー」(7.4%)「調理師」(7.1%)
 現在の仕事に役立っているもの：「パソコン関連」(7.1%)「簿記」(4.5%)「介護福祉士」(4.5%)「調理師」(3.8%)
 今後取得したいもの：「パソコン関連」(24.7%)「医療事務」(13.8%)「簿記」(9.0%)「介護福祉士」(9.0%)

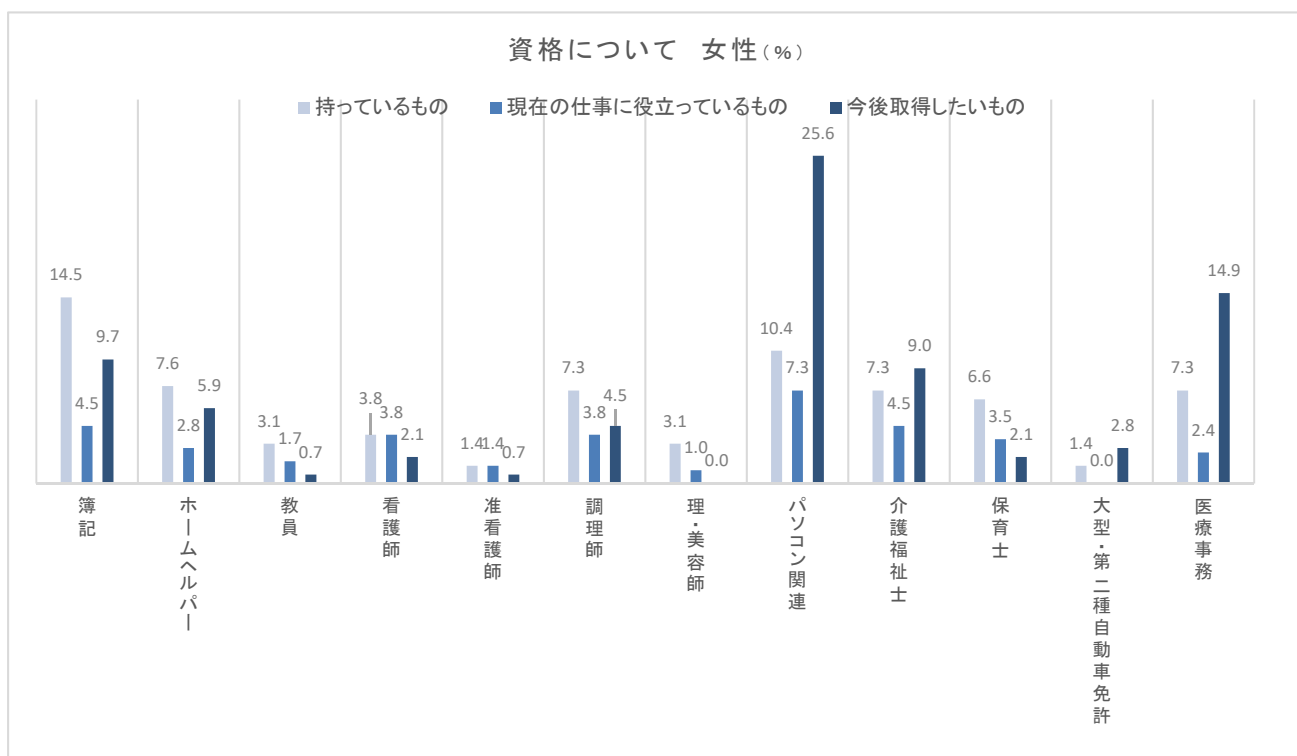
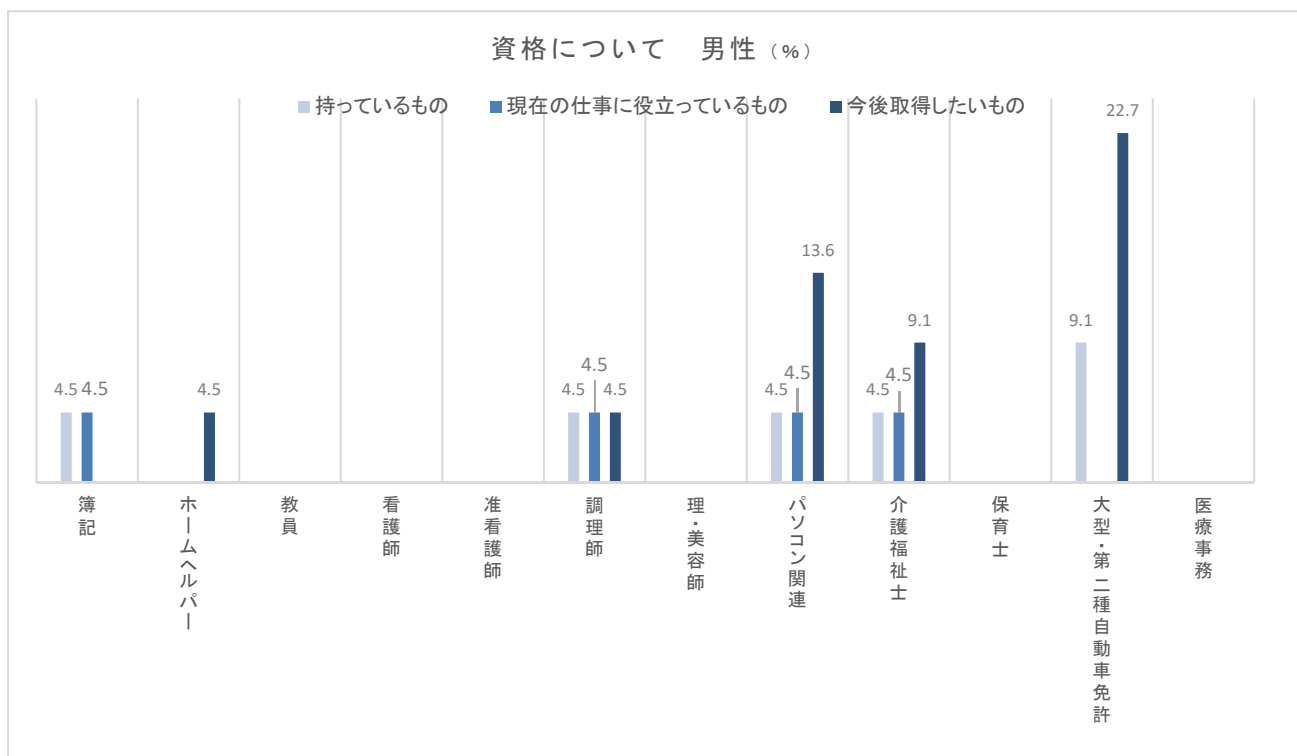


	Q21 下の資格について、「持っているもの」「現在の仕事に役立っているもの」「今後 取得したいもの」それぞれ、お答えください。													
	全体	簿記	ホームヘルパー	教員	看護師	准看護師	調理師	理・美容師	パソコン関連	介護福祉士	保育士	大型・第二種自動車免許	医療事務	特にない
持っているもの	312	● 13.8	7.4	2.9	3.5	1.3	7.1	2.9	● 9.9	7.1	6.1	1.9	6.7	● 50.6
現在の仕事に役立っているもの	312	● 4.5	2.6	1.6	3.5	1.3	3.8	1.0	● 7.1	● 4.5	3.2	0.0	2.2	● 72.4
今後取得したいもの	312	● 9.0	5.8	0.6	1.9	0.6	4.5	0.0	● 24.7	● 9.0	1.9	● 4.2	● 13.8	● 53.2

今後取得したいものは、男女で傾向が大きく異なる。

男性：「大型・第二種自動車免許」(22.7%)「パソコン関連」(13.6%)

女性：「パソコン関連」(25.6%)「医療事務」(14.9%)

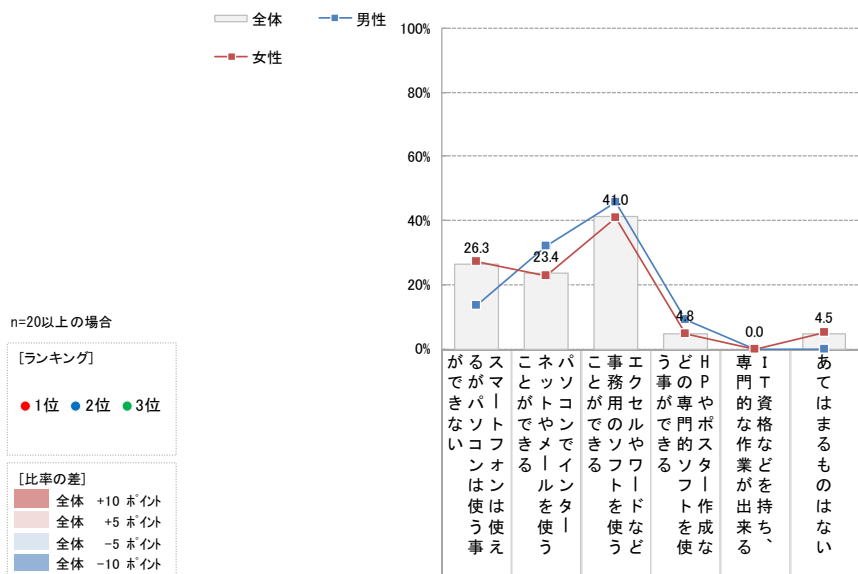


Q22 あなたのパソコンのスキルで近いものをお答えください。

「エクセルやワードなど事務用のソフトを使うことができる」が41.0%と最も高く、次いで「スマートフォンは使えるがパソコンは使う事ができない」(26.3%)の順である。

「男性」は「スマートフォンは使えるがパソコンは使う事ができない」(13.6%)が低い。

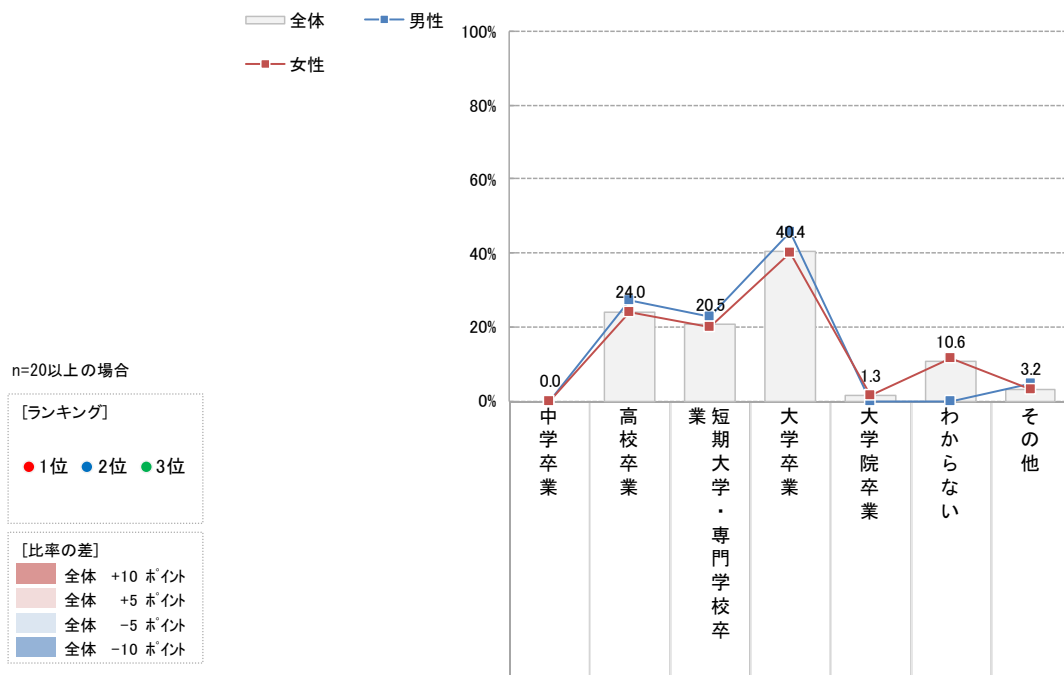
「非正規雇用のため、正規雇用の仕事に就きたい」は「エクセルやワード など事務用のソフトを使うことができる」(50.8%)がやや高い。



全体		(312)	26.3	23.4	41.0	4.8	0.0	4.5
男女	男性	(22)	13.6	31.8	45.5	9.1	0.0	0.0
	女性	(289)	27.0	22.8	40.8	4.5	0.0	4.8
現在の仕事について	現在の仕事を続けたい	(186)	27.4	23.1	37.6	5.9	0.0	5.9
	非正規雇用のため、正規雇用の仕事に就きたい	(65)	23.1	21.5	50.8	3.1	0.0	1.5
	非正規雇用のまま、別の新しい仕事に就きたい	(18)	44.4	22.2	27.8	0.0	0.0	5.6
	仕事をしていない	(9)	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	その他	(34)	14.7	26.5	50.0	5.9	0.0	2.9
職業	会社員/公務員(正規雇用)	(107)	22.4	19.6	46.7	6.5	0.0	4.7
	会社員/公務員(非正規雇用)	(121)	33.1	21.5	37.2	2.5	0.0	5.8
	専門職(看護師・介護福祉士など)(正規雇用)	(21)	4.8	28.6	52.4	4.8	0.0	9.5
	専門職(看護師・介護福祉士など)(非正規雇用)	(28)	21.4	25.0	50.0	3.6	0.0	0.0
	自営業	(18)	27.8	33.3	22.2	16.7	0.0	0.0
	学生	(1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	無職	(16)	37.5	43.8	18.8	0.0	0.0	0.0
職種	事務職(受付、経理など)	(65)	3.1	7.7	81.5	6.2	0.0	1.5
	サービス職(美容師、調理、接客業など)	(66)	37.9	25.8	19.7	7.6	0.0	9.1
	専門職・技術職(看護師、保育士、介護福祉士など)	(59)	10.2	30.5	54.2	1.7	0.0	3.4
	販売職(食品販売、レジなど)	(18)	38.9	33.3	22.2	5.6	0.0	0.0
	生産工程職(製品製造、組立、検査など)	(57)	42.1	26.3	22.8	3.5	0.0	5.3
	運搬・清掃・包装等従事者(宅配業、建物清掃、箱詰作業など)	(14)	64.3	21.4	7.1	0.0	0.0	7.1
	その他	(33)	27.3	27.3	36.4	6.1	0.0	3.0

Q23 子どもの進学について、どの段階まで希望されていますか。

「大学卒業」が40.4%と最も高く、次いで「高校卒業」(24.0%)「短期大学・専門学校卒業」(20.5%)の順である。最終学歴「中学校」は「高校卒業」(43.8%)が高く、「大学卒業」(21.9%)が低い。「高等専門 専門 短大 大学/大学院」は「高校卒業」(9.4%)が低く、「大学卒業」(53.9%)が高い。総収入・貯金額が上がるにつれて「大学卒業」が高くなる。

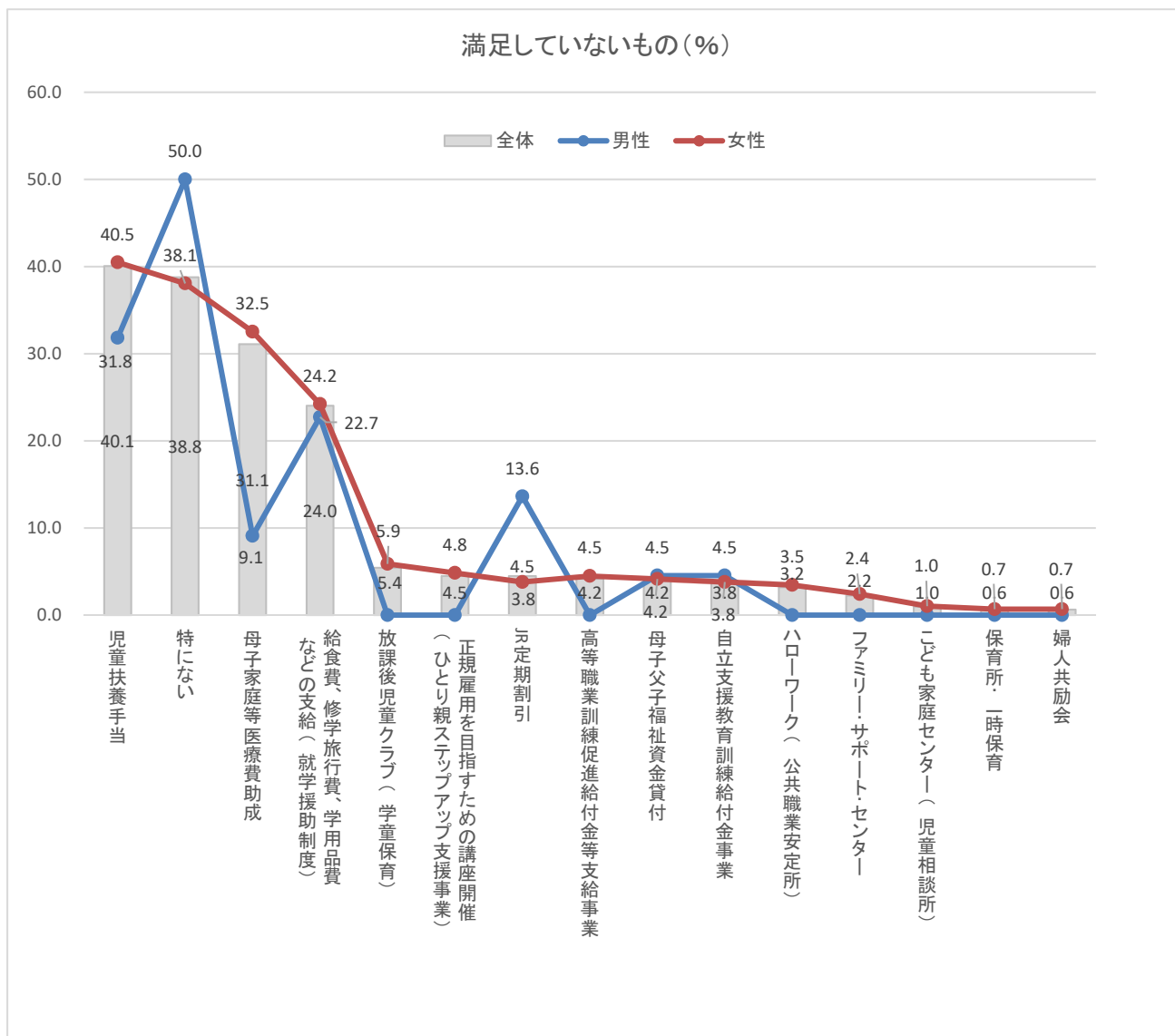


		全体	n	1位	2位	3位	1位	2位	3位
全体		(312)	0.0	24.0	20.5	40.4	1.3	10.6	3.2
男女	男性	(22)	0.0	27.3	22.7	45.5	0.0	0.0	4.5
	女性	(289)	0.0	23.9	20.1	40.1	1.4	11.4	3.1
最終学歴	中学校	(32)	0.0	43.8	18.8	21.9	0.0	15.6	0.0
	高等学校(全日制、定時制、通信制すべて含む)	(152)	0.0	32.2	17.8	32.9	0.7	12.5	3.9
	高等専門 専門 短大 大学/大学院	(128)	0.0	9.4	24.2	53.9	2.3	7.0	3.1
総収入	～100万円未満	(28)	0.0	17.9	21.4	39.3	7.1	14.3	0.0
	100～200万円未満	(107)	0.0	25.2	19.6	43.0	0.0	10.3	1.9
	200～300万円未満	(96)	0.0	26.0	24.0	36.5	0.0	9.4	4.2
	300～400万円未満	(35)	0.0	17.1	17.1	54.3	0.0	5.7	5.7
	400万円以上	(23)	0.0	21.7	26.1	43.5	4.3	4.3	0.0
貯金額	0円	(58)	0.0	31.0	29.3	25.9	1.7	12.1	0.0
	1～50万円未満	(80)	0.0	31.3	22.5	33.8	0.0	10.0	2.5
	50～100万円未満	(45)	0.0	17.8	22.2	44.4	0.0	15.6	0.0
	100～200万円未満	(31)	0.0	16.1	9.7	51.6	0.0	6.5	16.1
	200～300万円未満	(21)	0.0	14.3	23.8	52.4	0.0	4.8	4.8
	300～500万円未満	(8)	0.0	25.0	12.5	50.0	12.5	0.0	0.0
	500万円以上	(12)	0.0	16.7	16.7	58.3	0.0	8.3	0.0

(5)豊岡市のサービスについて

Q24 下記の豊岡市にあるサービスについて、満足していないものがあれば、お答えください。※最大3つまで

「児童扶養手当」が40.1%と最も高く、次いで「特にない」(38.8%)「母子家庭等医療費助成」(31.1%)「給食費、修学旅行費、学用品費などの支給(就学援助制度)」(24.0%)「放課後児童クラブ(学童保育)」(5.4%)の順である。男性は「児童扶養手当」31.8%と低く、女性は40.5%と高い。男性は「特にない」が50.0%と高く女性は38.1%と低い。



(※)

自立支援教育訓練給付金事業：資格(保育士、医療事務、調理師、介護福祉士など)取得に必要な講座費用の一部を助成

高等職業訓練促進給付金等支給事業：資格(看護師、介護福祉士、保育士、調理師など)取得するため1年以上のカリキュラム修業にかかる生活費等支援

Q25 満足していないサービスについて、その理由を具体的にお答えください。

Q24 で満足していないと回答したサービスのうち上位2項目について、満足していない理由は以下の通り。

・児童扶養手当、母子家庭等医療費助成の両方を選択した人の理由（抜粋）

母子家庭医療費、児童扶養手当など所得により受けられないのは納得できない。ひとり親で子どもの未来を考えて生活するために所得を上げているのに両親がいる家庭と同じ待遇は納得できない。自分が死んだら誰も子供を助けてくれないからお金を稼いで貯めるしかない。〈同居 総収入 300～400 万円未満〉

児童扶養手当について。所得が何百万も増えたわけではないのにすぐに減額はおかしい。生活するにはお金がかかるし、その点が不満と不安で正社員雇用に就くのを躊躇ってしまうのも事実です。学資保険や生命保険もそれによってかけられないのも現実です。〈同居 総収入 100～200 万円未満〉

前年に比べて所得が上がっているという理由により児童扶養手当が一部停止になりました。母子医療制度も同じく申請できませんでした。持病により毎月遠方の病院に通っているので母子医療制度の申請できる所得をもう少し引き上げて欲しいです。〈自分と子のみ 総収入 100～200 万円未満〉

児童扶養手当も母子家庭等医療費助成も18歳までであること。

18歳で就職する人もいるかもしれないけど、就職してすぐにお金をたくさん稼ぐのも大変だろうし、18歳でまだまだ学生な人もいて、まだまだお金がかかるのに、打ち切られるのは厳しいです。〈自分と子のみ 総収入 100～200 万円未満〉

・「児童扶養手当」を選択した人の理由（抜粋）

1年前の収入によって児童扶養手当が決まること。今、お金がなくてしんどいのに、仕事をやっていた時の収入で計算されると生活が出来ない。〈子どもなし 総収入 200～300 万円未満〉

働けば働くほど児童扶養手当は少なくなるが、子供たちにもだんだんお金がいるようになり生活はさらに厳しくなるばかり。いつまでも児童扶養手当をあてにしていけないと思ってはいるが、子供を置いて土日や長時間の仕事もできない。〈自分と子のみ 総収入 100～200 万円未満〉

児童扶養手当の二人目以降の額が少ないと感じる。子供が沢山いると、その分出ていくお金も沢山になるのに、一人目はとても助かる金額が出ますが、二人目以降、倍に増えるのではなく、一万円追加のみは少な過ぎると思います。〈自分と子のみ 100～200 万円未満〉

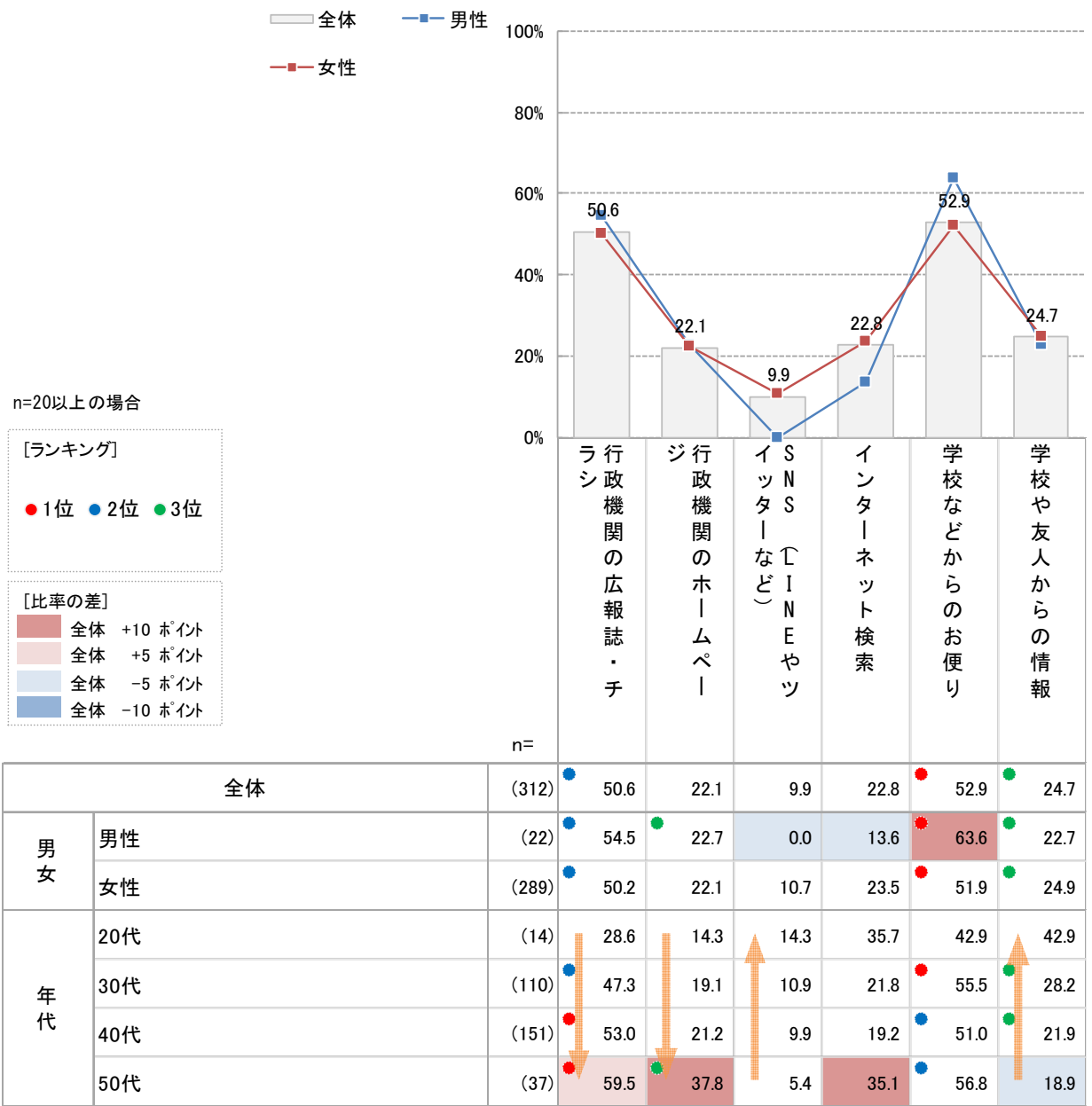
所得が増えれば、手当が減られるという国のやり方が気に要らない。満額貰えてたけれど、それでもお金に困って大変です。前年度の所得で一部支給と変わり、今までもやりくり大変やったのに、今後子どもの為に貯金してあげたくても、生活費ですべて飛んでいくと思うとやるせないですね。〈自分と子のみ 総収入 100～200 万円未満〉

・「母子家庭等医療費助成」を選択した人の理由（抜粋）

母子医療はもっと充実させてくれれば医療機関を利用できるのと思う。母親の体調が悪いと全ての困ることにつながるが、お金がかかるからと自分で受診の制限をしてしまう。子供の病気は心配で病気に行っても自分のことはお金がないからと後回しにしてしまう。〈自分と子のみ 総収入 200～300 万円未満〉

Q26 ひとり親家庭や子どものための施策などの情報を得るために、以下のものをどの程度利用していますか。※最大3つまで

「学校などからのお便り」が52.9%と最も高く、次いで「行政機関の広報誌・チラシ」(50.6%)の順である。「行政機関の広報誌・チラシ」・「行政機関のホームページ」は「20代」から「50代」にかけて上昇傾向にある。一方、「学校や友人からの情報」・「SNS (LINE やツイッターなど)」は年代が若い場合に高い。

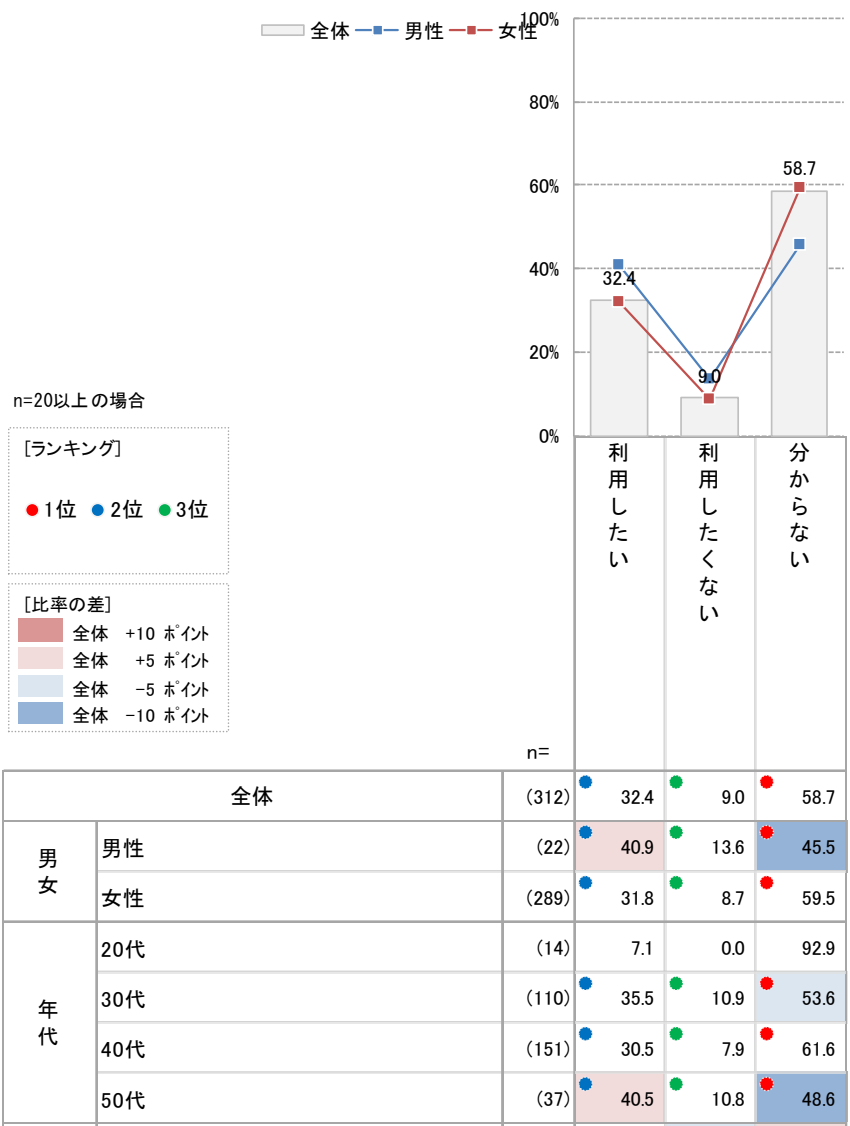


Q27 ひとり親家庭や子どものための施策などの情報を得たり、相談したりするためにチャットサービスのようなアプリケーションがあれば利用したいですか。

「分からない」が58.7%と最も高い。「利用したい」は32.4%

男女、年代問わず、「分からない」⇒「利用したい」⇒「利用したくない」の順である。

「中学校」は「分からない」(65.6%)がやや高く、「高等専門 専門 短大 大学/大学院」(37.5%)がやや高い。



Q28 豊岡市のサービスで、あったら良いと思うものを教えてください。 ※最大3つまで

「子どもの学習支援の充実」が39.1%と最も高く、次いで「医療助成制度の充実」(34.9%)「就学援助の充実」(33.7%)「日常生活支援の充実」(31.4%)「資格取得への支援」(24.4%)の順である。

子の年齢に問わず、「子どもの学習支援の充実」・「医療助成制度の充実」が高い傾向である。

「自分と子のみ」世帯の人は「日常生活支援の充実」(38.6%)がやや高く、「親族と同居」世帯は22.9%と低い。

「非正規雇用のため、正規雇用の仕事に就きたい」と回答した人は「日常生活支援の充実」(38.5%)、「資格取得への支援」(32.3%)、「就業機会の創出」(12.3%)がやや高い。

